

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年1月9日

協議会名: 新城市地域公共交通会議

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況 ①利用者数 ②収支率 ③利用者の満足度(1.0を基準値(普通)とし、0.8~1.2の間で数値が高いほど満足度が高い) の3項目で評価	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
豊鉄タクシー株式会社 西部線 (地域内フィーダー系統)	川田原滝～新城東高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年1月より、ルートの変更、川田・豊島地内にバス停4か所新設した。</li> <li>バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	<p>A</p> <p>市内で最も沿線人口・65歳以上共に最多となる西部地区本路線は、市中心部の市民病院などへの通院や買物等に出かけるための重要な路線となっている。事業は、計画どおり実施できた。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①利用者数 目標3,510人/実績3,019人 →達成度86%</li> <li>②収支率 目標7.34%/実績6.30% →達成度85%</li> <li>③利用者の満足度 目標1.05/実績1.04 →達成度(基準値1.0との差 +0.04)</li> </ul> <p>主たる利用者 高齢者 利用者数の推移(対28年度比) (総数) 3,019人(28年度)-3,209人(28年度)・・・▲190人</p>	<p>この路線の利用者は、主に高齢者であり、高齢者が市中心部の病院への通院、買い物に出かけるための路線となっている。今後は高齢利用者の利便性向上と新たな高齢利用者の獲得のため、利用促進策や情報提供に努めていきたい。</p>
新城市 塩瀬線 (地域内フィーダー系統)	上島田～大海駅・玖老勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線を守り育てる会を開催し、地域との協議を行った。</li> <li>バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	<p>A</p> <p>中学生の毎日の通学の足として、また高齢者の通院や買物の足として適切に運行ができた。また、他の路線との接続を考慮し、市中心部への利便性を確保することができた。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①利用者数(子供利用を除く) 目標1,623人/実績1,505人 →達成度92%</li> <li>②収支率 目標8.69%/実績2.75% →達成度31%</li> <li>③利用者の満足度 目標1.15/実績1.03 →達成度(基準値1.0との差 +0.03)</li> </ul> <p>主たる利用者 中学生、高齢者 利用者数の推移(対28年度比) (子供利用除く) 1,505人(29年度)-1,415人(28年度)・・・90人 (総数) 2,494人(29年度)-5,423人(28年度)・・・▲2,929人</p>	<p>28年4月に路線見直しを行った。継続的に「路線を守り育てる会」を開催し、さらに沿線住民が利用しやすい路線となるよう検討を進めていく。</p>
新城市 つくであしがる線 (地域内フィーダー系統)	診療所～診療所(曜日ごと路線が異なる循環運行)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通に関する市民ワークショップを開催し、地域住民との協議を行った。</li> <li>バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	<p>A</p> <p>各集落の生活を維持するために欠かせない路線であり、地域の生活を支えるための運行を実施することができた。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①利用者数 目標980人/実績971人 →達成度99%</li> <li>②収支率 目標2.42%/実績1.96% →達成度80%</li> <li>③利用者の満足度 目標1.20/実績1.13 →達成度(基準値1.0との差 +0.13)</li> </ul> <p>主たる利用者 高齢者 利用者数の推移(対28年度比) (総数) 971人(29年度)-1,176人(28年度)・・・▲205人</p>	<p>今年度は、公共交通に関する市民ワークショップを開催し、路線の再編、利便向上策、利用促進策についての協議を行った。このワークショップで出た意見を基に各種の施策を実施していく。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況 ①利用者数 ②収支率 ③利用者の満足度(1.0を基準値(普通)とし、0.8~1.2の間で数値が高いほど満足度が高い) の3項目で評価	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
新城市 中宇利線	新城東高校 ～小畑	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	①利用者数(子供利用を除く) 目標15,752人/実績13,896人→達成度88% ②収支率 目標37.15%/実績31.64% →達成度85% ③利用者の満足度 目標1.12/実績1.20 →達成度(基準値1.0との差 +0.20) ・主たる利用者 小学生、高齢者 ・利用者数の推移(対28年度比) (子供利用除く) 13,896人(29年度)-14,751人(28年度)・・・▲855人 (総 数) 46,116人(29年度)-50,931人(28年度)・・・▲4,815人	小学生の輸送が主な利用目的となっており、一般の利用者数は全体の30%程度となっている。 29年度は高齢者の通院利用が減少しているため、バスマップ配布を始めとした利用促進策・情報提供に努め、通院・買物に便利な路線としていく。
新城市 吉川市川線	新城市民病院 ～市川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	①利用者数(子供利用を除く) 目標3,451人/実績2,834人→達成度82% ②収支率 目標12.49%/実績11.06% →達成度88% ③利用者の満足度 目標1.16/実績1.17 →達成度(基準値1.0との差 +0.17) ・主たる利用者 小学生、高齢者 ・利用者数の推移(対28年度比) (子供利用除く) 2,834人(29年度)-3,497人(28年度)・・・▲663人 (総 数) 9,134人(28年度)-10,337人(28年度)・・・▲1,203人	小学生の輸送が主な利用目的となっており、一般の利用者数は全体の30%程度となっている。 29年度は通学時間帯以外の高齢者の通院利用が増加しており、引き続きバスマップ配布を始めとした利用促進策・情報提供に努め、通院・買物に便利な路線としていく。
豊鉄タクシー株式会社 北部線	緑が丘 ～新城郵便局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	①利用者数(子供利用を除く) 目標4,119人/実績3,555人→達成度86% ②収支率 目標11.28%/実績8.71% →達成度77% ③利用者の満足度 目標1.09/実績1.04 →達成度(基準値1.0との差 +0.04) ・主たる利用者 小学生、高齢者 ・利用者数の推移(対28年度比) (子供利用除く) 3,555人(29年度)-3,389人(28年度)・・・▲166人 (総 数) 6,711人(29年度)-6,803人(28年度)・・・▲92人	市中心部へアクセス可能な路線であり、鳳来北西部からの乗り継ぎ利用者も見られる。乗り継ぎ可能な塩瀬線へのPRを行い、高齢者の通院等によるバス利用者の新規獲得を目指す。
新城市 秋葉七滝線	本長篠 ～向久保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線を守り育てる会を開催し、地域との協議を行った。</li> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	①利用者数(子供利用を除く) 目標2,575人/実績1,601人→達成度62% ②収支率 目標10.90%/実績9.71% →達成度89% ③利用者の満足度 目標1.18/実績1.10 →達成度(基準値1.0との差 +0.10) ・主たる利用者 小中学生、高齢者 ・利用者数の推移(対28年度比) (子供利用除く) 1,601人(29年度)-2,350人(28年度)・・・▲749人 (総 数) 8,732人(29年度)-8,519人(28年度)・・・▲213人	小中学生の輸送が82%を占め、一般の利用者は18%となっている。小中学生の通学利便性向上のためのダイヤ等の見直しを実施したものの、一般利用者の利用者減少となっていることから、今後も守り育てる会を開催し、一般利用者の声を反映できるように地元住民と共に考えていく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況 ①利用者数 ②収支率 ③利用者の満足度(1.0を基準値(普通)とし、0.8～1.2の間で数値が高いほど満足度が高い) の3項目で評価	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
新都市 布里田峯線	玖老勢 ～稲目トンネル口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線を守り育てる会を開催し、地域との協議を行った。</li> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	①利用者数(子供利用を除く) 目標394人/実績778人→達成度197% ②収支率 目標10.29%/実績10.61% →達成度103% ③利用者の満足度 目標1.10/実績1.09 →達成度(基準値1.0との差 +0.09) ・主たる利用者 小中学生、高齢者 ・利用者数の推移(対28年度比) (子供利用除く) 778人(29年度)-620人(28年度)・・・158人 (総 数) 4,384人(29年度)-4,254人(28年度)・・・130人	28年4月に路線見直しを行った。継続的に「路線を守り育てる会」を開催し、さらに沿線住民が利用しやすい路線となるよう検討を進めていく。
新都市 長篠山吉田線	本長篠～ 郷ヶ平～田沢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・市民団体主催の地域での公共交通勉強会を実施した。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	①利用者数(子供利用を除く) 目標2,074人/実績2,528人→達成度121% ②収支率 目標30.55%/実績21.48% →達成度70% ③利用者の満足度 目標1.07/実績1.04 →達成度(基準値1.0との差 +0.04) ・主たる利用者 小中学生、高齢者 ・利用者数の推移(対28年度比) (子供利用除く) 2,528人(29年度)-2,246人(28年度)・・・282人 (総 数) 14,930人(29年度)-17,206人(28年度)・・・▲2,276人	主な利用者は鳳来中部小学校、鳳来中学校の児童生徒だが、通院・買物・通勤を目的とした一般利用者もいる。利用者の多くは本長篠BTを経由して新城方面を目的地とするが、竹平バス停から遠鉄バス洪川線を利用することで、浜松市中心部との往復が可能となる。浜松市への『玄関口』としての一面もPRし、バス接続にも配慮したい。
新都市 四谷千枚田新城線 (豊鉄バス(株)路線)	本長篠 ～四谷千枚田口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	①利用者数 目標6,319/実績9,550→達成度151% ③利用者の満足度 目標1.04/実績1.08→達成度(基準値1.0との差 +0.08) ・主たる利用者 小中学生 ・利用者数の推移(対28年度比) (総 数) 9,550人(29年度)-7,752人(28年度)・・・1,798人	28年4月に四谷千枚田新城線とし、四谷地区の中学生及び高齢者の利便性向上を図りました。観光地である四谷千枚田付近にバス停を設置したので、観光客への周知を図り、利用者増につなげる。
新都市 作手線	新城富永 ～作手高里	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通に関する市民ワークショップを開催し、地域住民との協議を行った。</li> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> <li>・沿線高校へのアンケート調査を実施した。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	①利用者数 目標43,759人/実績46,062人→達成度105% ②収支率 目標28.30%/実績29.47% →達成度104% ③利用者の満足度 目標1.01/実績1.00 →達成度(基準値1.0との差 +0.00) ・主たる利用者 高校生、高齢者 ・利用者数の推移(対27年度比) (総 数) 46,062人(29年度)-42,997人(28年度)・・・3,065人	今年度は、公共交通に関する市民ワークショップを開催し、路線の再編、利便向上策、利用促進策についての協議を行った。このワークショップで出た意見及び高校との協議を行い、各種の施策を実施していく。
新都市 守義線	鳴沢橋 ～診療所前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通に関する市民ワークショップを開催し、地域住民との協議を行った。</li> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	①利用者数(子供利用を除く) 目標2,258人/実績2,545人→達成度112% ②収支率 目標8.67%/実績6.72% →達成度77% ③利用者の満足度 目標1.13/実績1.06 →達成度(基準値1.0との差 +0.06) ・主たる利用者 中学生、高齢者 ・利用者数の推移(対2年度比) (子供利用除く) 2,545人(28年度)-2,505人(28年度)・・・40人 (総 数) 5,334人(29年度)-4,687人(28年度)・・・647人	今年度は、公共交通に関する市民ワークショップを開催し、路線の再編、利便向上策、利用促進策についての協議を行った。このワークショップで出た意見を基に各種の施策を実施していく。